



(1,500円)

特許庁長官 三宅 幸夫 殿

後記号付し

実用新案登録願 (A)

昭和49年3月 入 日

BEST AVAILABLE COPY

1. 考案の名称

カセット

2. 考案者

東京都八王子市大和田町 2215

中村 晴 明

(外/名)

3. 実用新案登録出願人

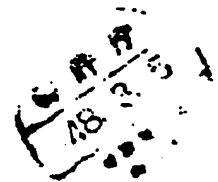
東京都渋谷区幡ヶ谷 2丁目 4番 2号

(037) オリンパス光学工業株式会社

代表者 神 部 健

4. 添付書類の目録

- | | |
|-----------|-----|
| (1) 明 細 書 | / 通 |
| (2) 図 面 | / 通 |
| (3) 願書原本 | / 通 |



明 細 書

1. 考案の名称

カセット

2. 実用新案登録請求の範囲

カセットの外表面上に導電体を離脱可能に設けたことを特徴とするテープレコーダカセット。

3. 考案の詳細な説明

本考案は、テープレコーダ用のカセットに嵌出用導電体を離脱可能に設けた装置に関する。

昨今のテープレコーダは、テープのあるいはヘッドの性能向上、またはテープレコーダの使用法の開拓等々により操作時はあらゆる注意をする必要が生じてきた。例えばクロムテープを使用するとき従来のマグネタイト (Fe_2O_3)、あるいはガンマー・ヘ^マグネタイト ($\gamma\text{Fe}_2\text{O}_3$) 用のヘッドで録^レ音^キを行うとヘッドは損傷してしまうという欠点が生じる。そして従来のテープレコーダでカセット上に設けられた信号により警告を行うものとしては

ユキ

誤消去の防止装置が行われているだけで他は操作者が注意をし切換あるいは交換をするのが通常であつた。何故ならばカセットは樹脂で成形されているので種々の信号をカセット上に設けることは困難でありまたコストも高くなるのでユーザーに提供することができなかつた。

本考案はカセットの外表面に導電体を離脱可能に設け種々の信号源としテープレコーダの操作を自動的に行わせるようにしたカセットを提供することにある。

以下、誤消去防止装置を例とした本考案を説明する。

略

第1図はテープレコーダ本体（図示省略）にカセットを挿入した状態を示すものでその側面に導電片2、3が貼着され、カセット1のA面の消去を防止する導電片は符号2で検出し、B面は導電片3をもつて信号源としている。符号4は検出装置を示すものでばね5によりカセット1側に揺動習性がある揺動板6上に絶縁片7を介して接触片8が、絶縁片9を介して接触片10が設けられ、

1 本体

1 挿入

各々の接触片 δ 、 γ は上記導電片 β に当接する位置に配置されている。上記接触片 δ は電池 γ の正極に、接触片 γ はソレノイド α を介し電池 γ の負極に接続されている。そして上記ソレノイド α の可動鉄片 β の先端に阻止片 δ が消去用レバー ϵ の揺動範囲内に突出^るよう設けられている。このような構成に於て録音機のテープの消去を防止するときは図に示すようにカセット γ に導電片 β を貼着しテープレコーダに挿着すると接触片 δ 、 γ は導電片 β を介し橋絡しソレノイド α が作動し阻止片 δ は突出し図の位置にくるので消去用レバー ϵ を押圧することが可^不能となり消去用ヘッドはテープに接する事がないので録音されたテープを消去することがない。

そしてテープに録音を必要とするときは導電片 β を剥離し、カセットを挿着するので接触片 δ 、 γ は橋絡しないからソレノイド α は作動せず阻止部材 δ が消去用レバー ϵ の揺動範囲内に飛び出すことがなく録音を可能とする。

第2図は消去を防止するフィン δ を有するカ

セットノをテープレコードに挿着した状態を示すもので、符号ノアの検出装置をもつてフィンノを検出している。この検出装置ノはばねノによりカセットノ側に揺動習性がある第ノ揺動板ノの面上に第ニ揺動板ノをばねノによりカセットノ側に揺動習性をもつよう設けられ各々の揺動板ノ。ノの一端部に2.7を介して接触片ノが設けられ、一方の接触片ノがフィンノに当接するように成っている。さらに第ノ揺動板ノの他端部に折曲部ノが形成され消去用レバーノの揺動範囲内に出入り可能に成されている。上記接触片ノはソレノイドノを介し電池ノの正極に接続され、接触片ノは負極に接続されている。

9 図A

このような構成に於て録音済のテープの消去を防止するときはカセットノのフィンノを折りテープレコードに挿着すると接触片ノは、フィンノを折つた後の孔に入り込み第ノ揺動板ノの折曲部ノが図に示す破線の位置まで移動し消去用レバーノの押圧を不可能となり消去用ヘッド

1 図B

はテープに接することがないので録音されたテープを消去することがない。

さらにこの装置によると消去を防止するフィン付のカセットを使用しない図/図の細きカセットを使用するテープレコーダによるときはフィン/6上に図に示す導電片3を貼着すると接触片5、/0は橋絡しソレノイド/2が作動し阻止部材/4は消去用レバー/1の摺動範囲内に飛出し上記と同様に消去を防止することができる。さらに図示はしていないがフィン/6を有するカセットを使用するテープレコーダーで検出装置/7を使用する方法として、フィン/6を折つた後の孔に両接触片が挿入されても同様に消去を防止することができる。

第2図を利用し他の実施例はこれまでの酸化鉄系テープの抗磁力が3000e 前後であつたのに対し、クロムテープは約1.5倍以上で、この為に高域特性の改善は10KH.で4dB~8dB、また同一ヘッドを使つてイコライゼーションの定数を変更するだけで高域の周波数は1.4~1.5倍に拡大

されるものである。つまり従来のテープを使用した後、クロムテープを使用するときはイコライゼーションもバイアスもセットし直さなければならない。

上記の如き不具合を解消する為にカセットノの略中央壁面上に鎖線で示す導電片22を設け上記実施例中の接触片を設け、カセットの挿着により橋路の有無によりイコライゼーション又はバイアスの切換を行うようにしたものである。

以上のように本考案はカセット上に導電片を貼着することによりあらゆる信号源として利用できるものである。またこの導電片をあらかじめカセット上にプリントしても同様の効果が得られるし、カセット上の商品名、あるいは製造会社等のプレートを導電体として利用することもできる。

※ 図面の簡単な説明

第1図は本考案のカセットを利用した誤消去防止装置の斜視図、第2図は他の誤消去防止装置の斜視図である。

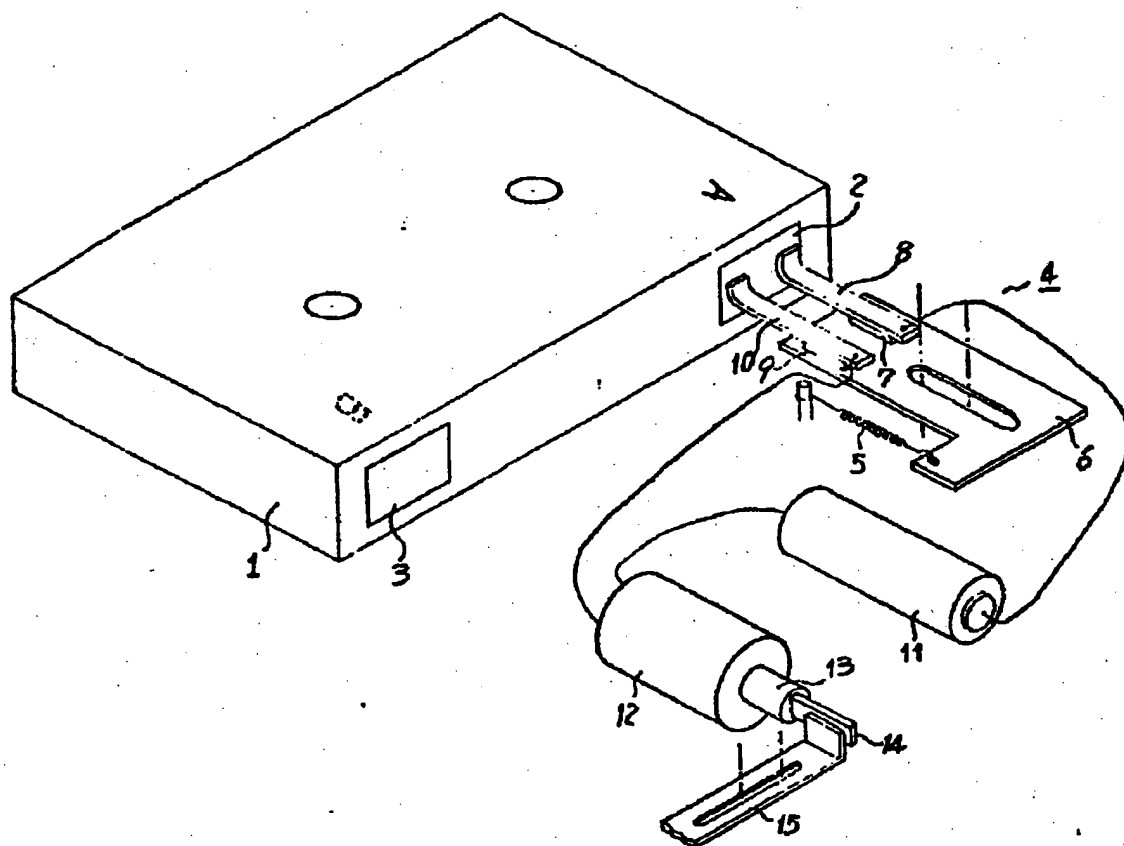
1……カセット、2、3、22……導電片

々、 / 7 …… 検出装置、 8、 / 0 …… 接触片、
 / 3 …… ソレノイド、 / 5 …… 消去用レバー

実用新案登録出願人

オリンパス光学工業株式会社

第1図

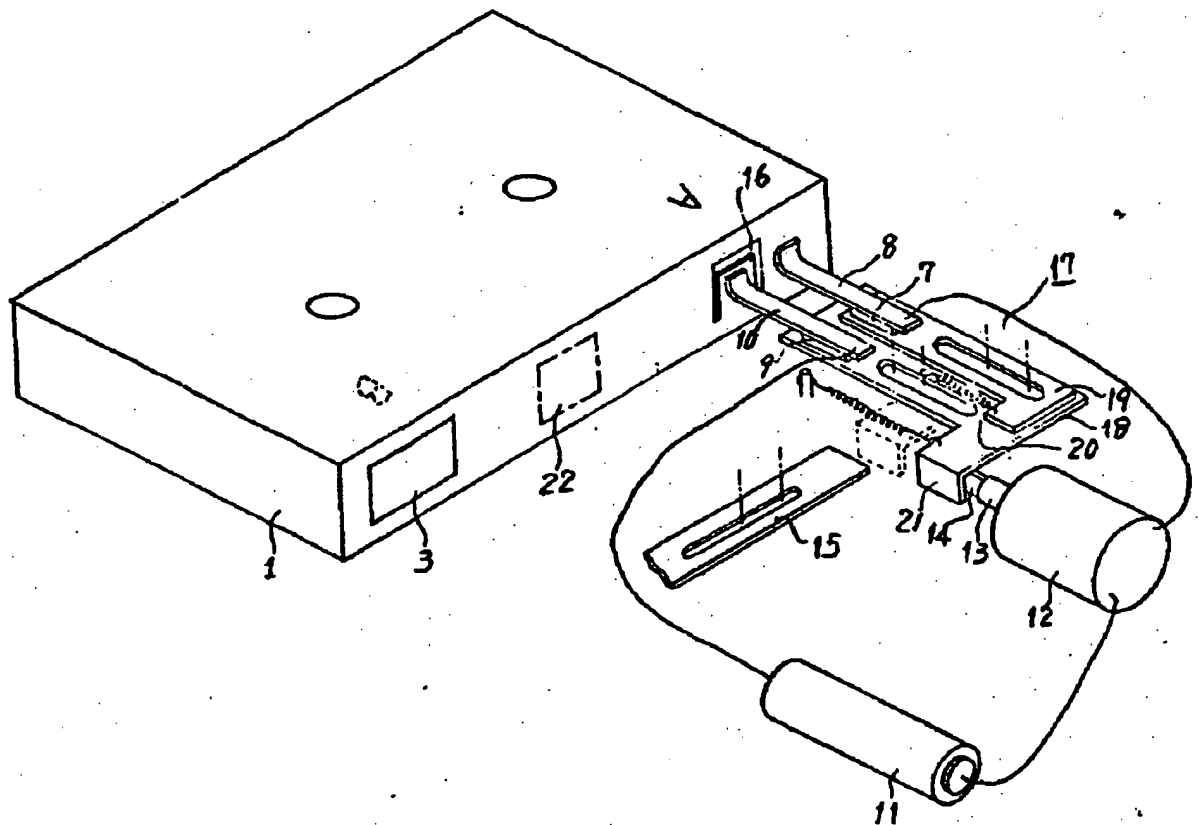


128223^{1/4}

実用新案登録出願人

オリンパス光学工業株式会社

第 2 図



2 223 2/4

東京

オリンパ

よ 前記以外の考案者

東京都武蔵野市吉祥寺東町ノ-2-6

日 暮 葉 夫

手 続 補 正 書 (方 式)

昭和48年 7 月 25 日

特許庁長官 三宅 伸 夫 殿

1 事件の表示

実願昭48-37048号

2 考案の名称

カセット

3 補正をする者

事件との関係 実用新案登録出願人

東京都渋谷区幡ヶ谷3丁目4番3号

(037)オリンパス光学工業株式会社

代表者 神 塚 健

4 補正命令の日付 昭和48年6月9日

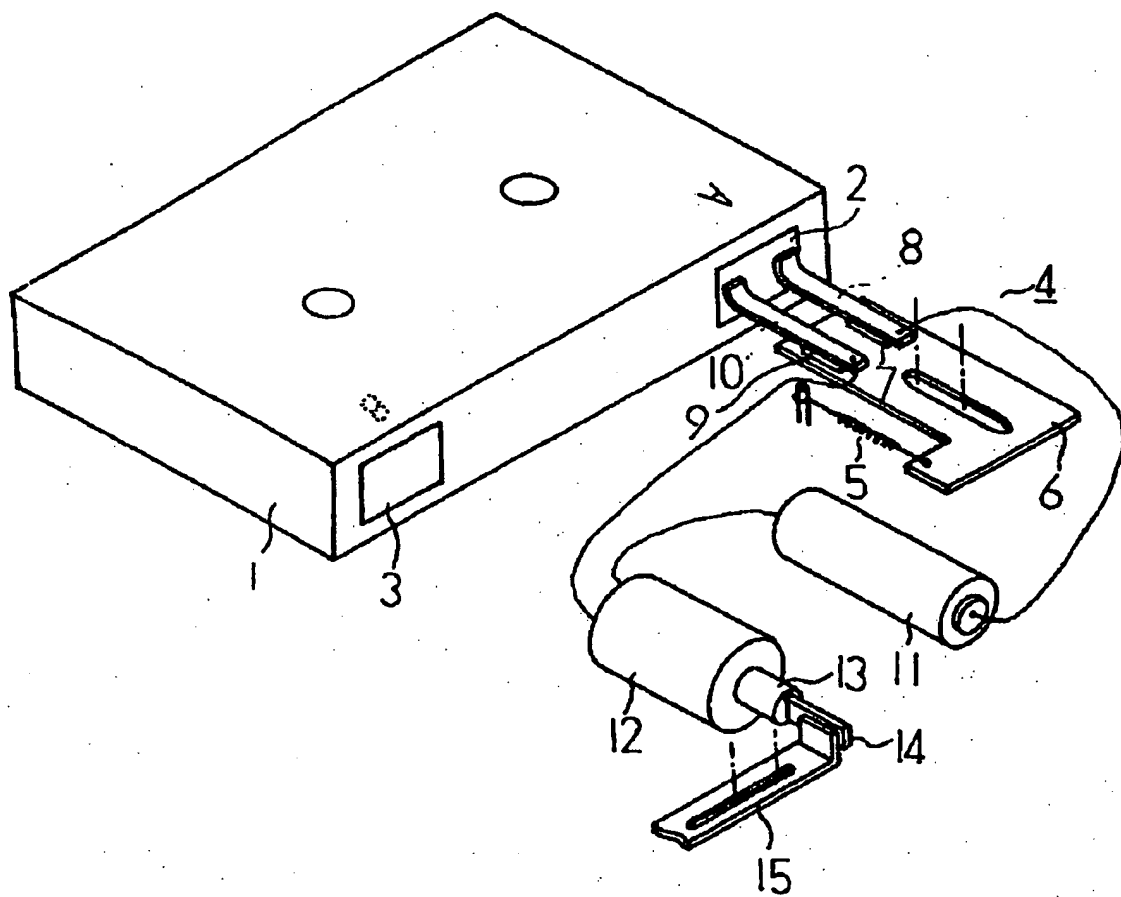
5 補正により増加する発明の数

6 補正の対象

図 面

7 補正の内容 別紙の通り

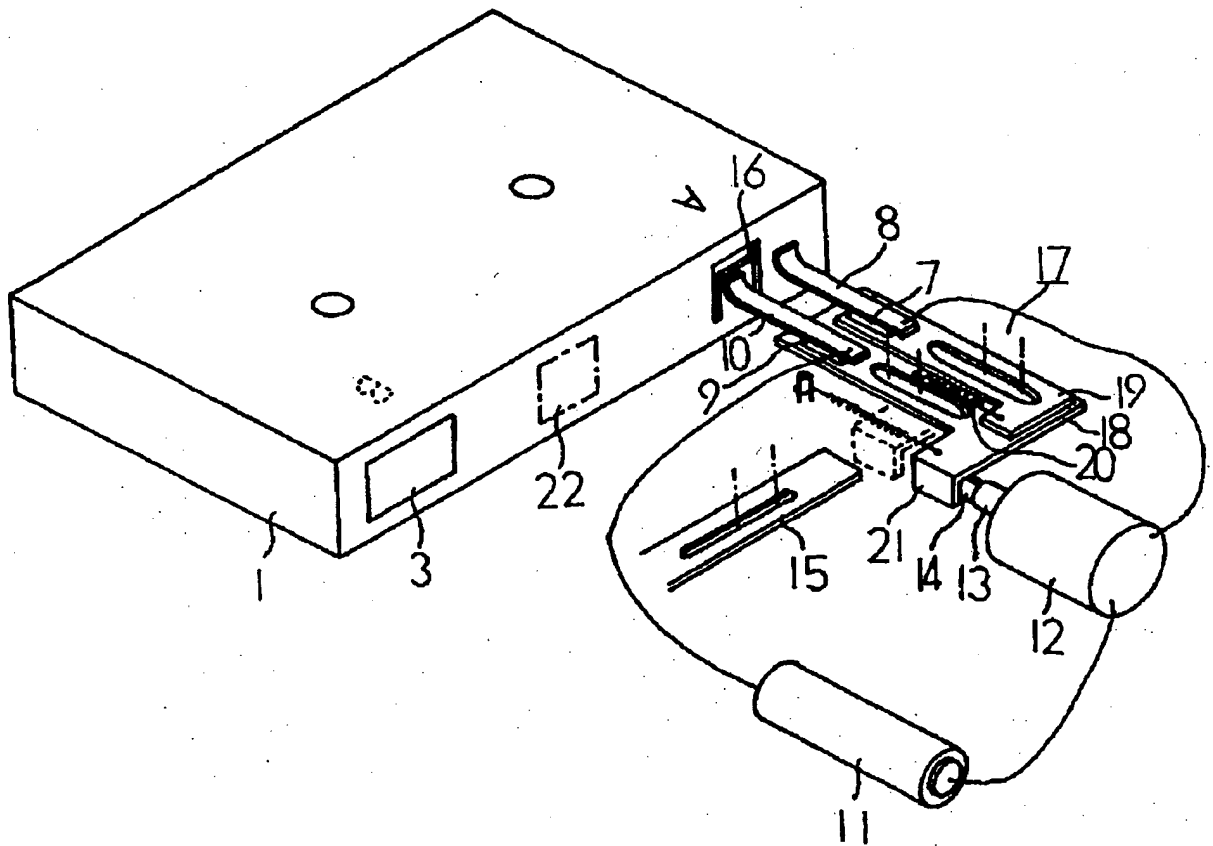
第 / 図



実用新案登録出願人

オリンパス光学工業株式会社

第 2 図



126223

実用新案登録出願人

オリンパス光学工業株式会社

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☒ **BLACK BORDERS**

☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**

☐ **FADED TEXT OR DRAWING**

☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**

☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**

☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**

☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**

☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**

☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**

☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.